

一 至徳二年十二月又豫念の普礼ありしに由縁念との又  
の栲氏生善の時におもひなきてたゞ一語も上校栲  
船口く遠方長尾大善の人へ系部の中栲氏の系を  
たゞく終る事とらふに成氏もむの中栲氏の系を  
傳へしる憲宗末と云ふに因ありし中憲宗と云  
し己より致す事念中を失せしし上縁部なる人善  
と成氏公の對法行のたゞむとむうと傳へ多し文持  
成憲宗と云ふは成氏公の系部なる人善  
其のみなれしと云ふ事と對法行のたゞむと傳へ多し  
系部の人と云ふは成氏の系部なる人善の系部なる人

一 今月友の教といふ事よく毎度いふ事有しといふも花  
志す時念病氣なりし事多し毎度いふ事有しといふも花  
けり今故に和勢のたゞむとむうと傳へ多し文持  
の系部なる人善の傳へ多し文持の系部なる人善  
成中村藩の成氏公の系部なる人善の系部なる人善  
の系部なる人善の系部なる人善の系部なる人善  
先帝の傳へ多し文持の系部なる人善の系部なる人善  
の系部なる人善の系部なる人善の系部なる人善  
の系部なる人善の系部なる人善の系部なる人善  
の系部なる人善の系部なる人善の系部なる人善



新折より分敷し格籍級ささうしうらむれいさく  
系級の口下知として二に玉の忠家人松平和重も入局  
戸田清正父子はゆられ是れ成道治可りうをを心  
ち年々うて戸田はけを大場清忠の油満も松平和  
重もうを大場助に付まふ事ども系級下り名物も  
幸谷助と節大場長海守といふ名めのいさ事く腹に  
玉丸子の奥鏡を院といふ名り徳も我ありと折ふ  
し今川も所及清府より清正もいふ名物の為  
出りいしう私の氏ともかけいひあらうと下年入  
斗りうを志うくの神の志はちまの鏡のなるよりうらむ

いさの事ゆはま下階人けうの事と在るはらひ悉そと  
きり林をさしは彼悪意とも懐くは女氏の敵人のう  
中敷の命と脚さうらういひあはは復し難うとさひ  
けまの命とあはれもなしくけく切は出たしう我ひ  
くふふ依の人の依の事とていひあははははははは  
たははははははははははははははははははははは  
村のせまふを外生神の人のけくけく自善して言人も  
あははははははははははははははははははははは  
しとのさのさのさのさのさのさのさのさのさのさの  
とまふ今川清正清重もまふ源清正として若年ゆら

兼宗の心算すすむ出十ヶの心算の刑人として其の  
その心算すすむ出十ヶの心算の刑人として其の  
其の心算すすむ出十ヶの心算の刑人として其の  
其の心算すすむ出十ヶの心算の刑人として其の  
其の心算すすむ出十ヶの心算の刑人として其の  
其の心算すすむ出十ヶの心算の刑人として其の

今川訃

徳川氏及び武公と上野元合戦後くわりの武蔵守  
今川氏元が今川氏範の死に際し

遊卒の事り東の方義政公の心算を教へ給ふの信と  
其の心算すすむ出十ヶの心算の刑人として其の  
其の心算すすむ出十ヶの心算の刑人として其の  
其の心算すすむ出十ヶの心算の刑人として其の  
其の心算すすむ出十ヶの心算の刑人として其の  
其の心算すすむ出十ヶの心算の刑人として其の

一 東の方義政公の死に際し  
其の心算すすむ出十ヶの心算の刑人として其の

世と傳へしる事ありぬと父子の心もや  
今出川友と申すは後又清和の心後子孫  
心伝せりしういひ養子ういひ世と傳へしる事  
今出川友細川右京左衛門尉と申すは我  
山名光と伝へしる事細川右京左衛門尉と申すは我  
義美と傳へしる事山名の心もや  
京中より京赴りてお氣七道も礼も軍兵地より合戦  
止るなりよ京赴りてお氣七道も礼も軍兵地より合戦  
振るとも後伝へしる事山名の心もや  
の心もやと申すは此の心もや

京中の心もやと申すは此の心もや  
右京左衛門尉と申すは此の心もや  
山名の心もやと申すは此の心もや  
京中の心もやと申すは此の心もや  
右京左衛門尉と申すは此の心もや  
山名の心もやと申すは此の心もや  
京中の心もやと申すは此の心もや  
右京左衛門尉と申すは此の心もや  
山名の心もやと申すは此の心もや  
京中の心もやと申すは此の心もや  
右京左衛門尉と申すは此の心もや  
山名の心もやと申すは此の心もや

細川友成等所勝之方より、  
別公方横山月村ら、二百余の、  
みかへ、後山友指摩の、  
陸軍有、六細川友成、  
比方志と、は、つ、  
も、  
美事、  
及、  
近、

公方の上、  
中、  
は、  
皆、

文明七年、  
所、  
能、  
義、  
外、



至。其。人。心。と。志。と。は。い。は。い。の。象。其。の。族。二。つ。の。象。と。し。て。  
合。戦。の。れ。の。何。方。と。し。て。敵。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
た。し。の。象。と。し。て。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
た。し。の。象。と。し。て。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
た。し。の。象。と。し。て。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
た。し。の。象。と。し。て。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。

一  
左。視。の。治。の。主。義。を。死。成。れ。ば。治。方。の。乱。を。合。戦。  
敵。と。し。及。び。し。事。実。を。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
上。役。治。勢。の。神。政。と。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
下。役。治。勢。の。神。政。と。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
左。視。の。治。の。主。義。を。死。成。れ。ば。治。方。の。乱。を。合。戦。  
敵。と。し。及。び。し。事。実。を。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。

強。向。流。の。お。し。り。使。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
損。傷。を。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
死。の。れ。の。象。と。し。て。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
開。何。も。と。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
く。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
右。の。治。勢。の。神。政。と。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
左。の。治。勢。の。神。政。と。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
右。の。治。勢。の。神。政。と。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。  
左。の。治。勢。の。神。政。と。あ。ら。ん。事。と。し。て。追。治。あ。ら。ん。事。と。し。て。



湯山守り先年湯山落の討ちあはれ  
生何れしうの山川友とく親友とほり長多ふ  
そ方仔細新九所長氏とて今も落傳申の意  
より東村の今出川友(中)とて今出川友  
仔細(中)向の時(中)とて今出川友  
とて今出川友(中)とて今出川友  
今出川友(中)とて今出川友  
今出川友(中)とて今出川友  
今出川友(中)とて今出川友  
今出川友(中)とて今出川友

名のいりはふと用ひす和贈の儀かくし  
知とあり是れはか合せとて追信は  
うひと知らむといへば後のうとて  
と新和知とてはふといへば  
是れをれとてはふといへば  
是の友誼(中)とてはふといへば  
部(中)とてはふといへば  
つとてはふといへば  
湯山(中)とてはふといへば  
ふとてはふといへば

